



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社ファンコミュニケーションズ
 コード番号 2461 URL <https://www.fancom.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤 安慶
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 杉山 紳一郎

TEL 03-5766-3530

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	26,581	2.4	2,972	10.7	3,001	13.6	2,022	10.5
2018年12月期第3四半期	27,222	10.0	3,328	28.5	3,472	25.5	2,260	33.8

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 2,213百万円 (1.9%) 2018年12月期第3四半期 2,256百万円 (34.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	26.69	
2018年12月期第3四半期	29.42	29.40

(注) 2019年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	26,285	20,577	78.1	271.13
2018年12月期	25,790	19,835	76.6	260.92

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 20,540百万円 2018年12月期 19,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		19.00	19.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,200	3.2	3,700	12.1	3,720	14.8	2,580	1.0	34.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	76,930,032 株	2018年12月期	76,930,032 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	1,170,901 株	2018年12月期	1,170,901 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	75,759,131 株	2018年12月期3Q	76,843,904 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想数値に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続く中、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は、米中貿易摩擦による経済成長の減速懸念や金融資本市場の変動の影響等に留意が必要な状況となっております。

このような経済状況のもとで、当社グループの主要事業であるインターネットマーケティングサービス分野では、インターネット上のコンテンツやプライバシーに関する取組が推進されており、インターネット広告の仕組みや広告を掲載するメディアに影響が出ております。

一方、インターネットユーザーの動画視聴時間の増加や今後の通信環境のさらなる高速化等もあり、動画広告市場の成長が見込まれております。

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、ITP(※)への継続的な対応や動画広告への取り組みを推進してまいりました。しかしながら、検索アルゴリズムの変更等の影響により売上高が減収となりました。また、利益面においては、減収に加えパートナーサイトの広告枠の確保等により利益率が悪化し減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、26,581,486千円(前年同期比97.6%)となりました。また、営業利益は、2,972,730千円(前年同期比89.3%)、経常利益は3,001,402千円(前年同期比86.4%)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,022,300千円(前年同期比89.5%)となりました。

※ ITP(Intelligent Tracking Prevention)とは、iOS上の機能で、Safariブラウザが広告配信等を目的とする追跡用Cookieを識別すると一定期間後にCookieの利用制限等を行うことを言います。

当社グループは、当社グループの事業を、CPA型アドネットワーク事業、CPC/ターゲティング型アドネットワーク事業、その他の各セグメントに分けております。各セグメントの業績は、次のとおりであります。

① CPA型アドネットワーク事業

当社グループは、主力サービスでありますアフィリエイト広告サービス「A8.net(エーハチネット)」、スマートフォンアプリ向けCPI広告サービス「seedApp(シードアップ)」等を提供しております。当第3四半期連結累計期間においては、seedAppはブランドセーフティを意識した広告主からの引き合いが多く順調に拡大したものの、A8.netはITPや検索アルゴリズムの変更による影響を受け、また、adacross(アドクロス)の事業撤退等によりCPA型アドネットワーク事業の売上高は減収となりました。利益面においては、パートナーサイトの広告枠を確保するコストが上昇したこと等により減益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,648,533千円(前年同期比96.8%)、セグメント利益は3,382,511千円(前年同期比94.2%)となりました。

② CPC/ターゲティング型アドネットワーク事業

当社グループは、主力サービスでありますスマートフォン向け運用型広告サービス「nend(ネンド)」及びリターゲティング広告配信サービス「nex8(ネックスエイト)」等を提供しております。当第3四半期連結累計期間においては、ITPの影響によってCookieをベースにしたターゲティング広告の鈍化やオーバーレイ広告の配信停止の影響を受けたものの、動画広告が堅調に推移したほか、一部クライアントの予算獲得が順調に推移し売上高は横ばいで着地しました。また、利益面においては動画広告の比率が高まっているものの利益率は静止画広告よりも低水準で推移しており減益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,357,701千円(前年同期比99.6%)、セグメント利益は553,883千円(前年同期比81.1%)となりました。

③ その他

当社グループは、シーサー株式会社が運営する「Seesaaブログ(シーサーブログ)」を代表とするメディア事業等を展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、メディア事業の広告収入がオーバーレイ広告の配信停止等により低調に推移した一方、受託開発売上が伸張しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は575,251千円(前年同期比101.6%)、セグメント損失は112,511千円(前年同期は118,099千円のセグメント損失)となりました。

○ 報告セグメント別の売上高の内訳

セグメントの名称	2018年12月期第3四半期		2019年12月期第3四半期		2018年12月期	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
CPA型アドネットワーク事業	19,271,150	70.8	18,648,533	70.1	24,986,622	70.7
CPC/ターゲティング型アドネットワーク事業	7,385,281	27.1	7,357,701	27.7	9,594,911	27.2
その他	566,383	2.1	575,251	2.2	759,134	2.1
総売上高	27,222,815	100.0	26,581,486	100.0	35,340,668	100.0

なお、主力サービスであるアフィリエイト広告サービスにおける当第3四半期連結会計期間末の利用広告主数(稼働広告主ID数)、参加メディア数(登録パートナーサイト数等)は、下記のとおりであります。

サービス	区分	2019年12月期第3四半期末	2018年12月期末
「A8.net(エーハチネット)」	稼働広告主ID数	3,435	3,491
	登録パートナーサイト数	2,669,931	2,539,128
「nend(ネンド)」	稼働広告主ID数	266	314
	登録パートナーサイト数	971,995	928,948

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ495,218千円増加し、26,285,465千円となりました。主な増加要因としましては、現金及び預金が17,404,492千円(前連結会計年度末は17,778,004千円)と373,511千円減少した一方、売掛金が4,162,218千円(前連結会計年度末は3,703,909千円)と458,309千円増加したことによるものであります。

(負債)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ246,061千円減少し、5,708,380千円となりました。主な減少要因としましては、買掛金が4,487,787千円(前連結会計年度末は4,384,454千円)と103,333千円増加した一方、未払法人税等が300,934千円(前連結会計年度末は590,647千円)と289,713千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ741,280千円増加し、20,577,084千円となりました。主な増加要因としましては、利益剰余金が配当金の支払いにより1,439,423千円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を2,022,300千円計上したこと、その他有価証券評価差額金が188,120千円(前連結会計年度末は△2,666千円)と190,786千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月2日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,778,004	17,404,492
売掛金	3,703,909	4,162,218
有価証券	800,590	857,946
その他	327,994	309,442
貸倒引当金	△13,522	△9,840
流動資産合計	22,596,975	22,724,259
固定資産		
有形固定資産		
建物	153,049	153,849
減価償却累計額	△74,942	△81,538
建物(純額)	78,106	72,310
工具、器具及び備品	792,404	728,341
減価償却累計額	△542,591	△550,870
工具、器具及び備品(純額)	249,813	177,470
有形固定資産合計	327,920	249,781
無形固定資産		
その他	284,313	692,037
無形固定資産合計	284,313	692,037
投資その他の資産		
投資有価証券	2,074,216	2,219,947
その他	508,030	401,751
貸倒引当金	△1,209	△2,312
投資その他の資産合計	2,581,037	2,619,386
固定資産合計	3,193,271	3,561,205
資産合計	25,790,246	26,285,465

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,384,454	4,487,787
未払法人税等	590,647	300,934
賞与引当金	139,632	80,047
ポイント引当金	68,829	66,213
その他	617,301	621,659
流動負債合計	5,800,864	5,556,642
固定負債		
長期預り保証金	150,259	151,738
その他	3,318	—
固定負債合計	153,578	151,738
負債合計	5,954,442	5,708,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,173,673	1,173,673
資本剰余金	278,373	278,373
利益剰余金	19,117,548	19,700,425
自己株式	△800,000	△800,000
株主資本合計	19,769,594	20,352,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,666	188,120
その他の包括利益累計額合計	△2,666	188,120
新株予約権	68,876	36,492
純資産合計	19,835,804	20,577,084
負債純資産合計	25,790,246	26,285,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	27,222,815	26,581,486
売上原価	20,452,544	20,440,395
売上総利益	6,770,270	6,141,091
販売費及び一般管理費	3,442,267	3,168,360
営業利益	3,328,003	2,972,730
営業外収益		
受取利息	11,547	9,039
受取配当金	3,947	3,513
投資有価証券売却益	1,238	—
デリバティブ評価益	6,014	7,350
投資事業組合運用益	110,548	—
租税公課還付金	—	7,613
その他	12,858	5,872
営業外収益合計	146,154	33,388
営業外費用		
自己株式取得費用	1,195	—
為替差損	—	2,091
投資事業組合運用損	—	2,404
その他	376	221
営業外費用合計	1,571	4,716
経常利益	3,472,586	3,001,402
特別利益		
新株予約権戻入益	8,735	47,781
その他	113	—
特別利益合計	8,848	47,781
特別損失		
固定資産売却損	—	963
投資有価証券評価損	—	66,416
減損損失	97,055	—
特別損失合計	97,055	67,379
税金等調整前四半期純利益	3,384,380	2,981,804
法人税、住民税及び事業税	1,063,440	927,018
法人税等調整額	60,388	32,484
法人税等合計	1,123,828	959,503
四半期純利益	2,260,551	2,022,300
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,260,551	2,022,300

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,260,551	2,022,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,047	190,786
その他の包括利益合計	△4,047	190,786
四半期包括利益	2,256,503	2,213,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,256,503	2,213,087
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	CPA型アドネッ トワーク事業	CPC/ターゲ ティング型 アドネッ トワーク事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	19,271,150	7,385,281	26,656,432	566,383	27,222,815	-	27,222,815
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	56,396	-	56,396	47,067	103,463	△103,463	-
計	19,327,546	7,385,281	26,712,828	613,450	27,326,278	△103,463	27,222,815
セグメント利益 又は損失(△)	3,590,624	682,997	4,273,622	△118,099	4,155,522	△827,519	3,328,003

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

CPA型アドネッetwork事業及びCPC/ターゲティング型アドネッetwork事業において、一部サービスの収益性の低下等により、投資額の回収が見込めなくなった資産について、減損損失を計上しております。

当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、CPA型アドネッetwork事業で57,831千円、CPC/ターゲティング型アドネッetwork事業で39,224千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	CPA型アドネッ トワーク事業	CPC/ターゲ ティング型 アドネッ トワーク事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	18,648,533	7,357,701	26,006,234	575,251	26,581,486	-	26,581,486
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	155,964	-	155,964	67,793	223,758	△223,758	-
計	18,804,498	7,357,701	26,162,199	643,045	26,805,245	△223,758	26,581,486
セグメント利益 又は損失(△)	3,382,511	553,883	3,936,395	△112,511	3,823,884	△851,153	2,972,730

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。